



35 創立：1984.7.10/証認：1984.8.6 国際ロータリー第2660地区 大阪鶴見ロータリークラブ会報

事務所：〒534-0026 大阪市都島区網嶋町9番10号 太閤園内
電話：06-6357-8171 ファックス：06-6357-8011
例会日：毎週火曜日 12時30分/例会場：太閤園
会長：山本隆一/幹事：源壽美子/SAA：山崎修一
電子メール：rcosatrm@cf.mbn.or.jp
ホームページ：http://rc-osaka-tsurumi.jp/



インスピレーションになろう

本日の例会

〈第1601回〉 2018年8月7日(火) 本年度第5回

卓話

外国語としての日本語

講師：沢井則江氏 (日本語学校講師・フリーアナウンサー)
*ソニアの個人レッスンの先生

担当：濃添会員

- ロータリーソング
 - ランチタイムミュージック
- 君が代・四つのテスト

次回の例会

8月21日(火)

次回卓話

腸×健康 (腸活のすすめ)

講師：平賀 京子氏

担当：大見会員

前回の報告

PRESIDENT INFORMATION 会長インフォメーション 会長：山本隆一

二宮尊徳が実践した、 報徳を以ってロータリーを理解する③ 勤労

二宮尊徳は、勤労とは、衣食住に必要な物品を生産するためにあり、人が生きる上でなくてはならないものと説いています。報徳のめざす勤労とは、単に真面目に働く、ガムシャラに働くということではなく、生産性を高め、付加価値の高い仕事をする事です。従って、単に収入を得るためだけに働く、出世のためだけに働くことを勤労とはいいません。付加価値を高めるために必要なことは、自発的な努力、創意工夫、技能を磨く、合理性・効率性の追求であると思いました。そして、仕事はいやいやするものではなく、喜びを感じるものでなければなりませんと教えています。ある日、尊徳は、融資を頼まれました。相手は、台所で炊事の仕事をしている女中です。しかし、事情を聞けば返済は難しい状況でした。尊徳は、実家を援助するという親孝行な娘のために何とかしてやりたいと考え、炊事で使っている5本の薪を節約し、浮いた薪を返済原資に当てるよう提案しました。尊徳は、薪を節約する方法として、炊事に使用する鍋や釜に付着している炭を丁寧に洗い落とすこと、薪の並べ方を最適化することなどを助言しました。この助言に女中自身も工夫を加え、対策を施すことで熱効率が上がり、薪の節約だけでなく、木炭とい

う副産物を生むことに成功しました。この木炭は再利用することで更に薪の節約になります。結果として3本の薪で同じ炊事ができるようになりました。率にして40%の削減です。そして、尊徳が、節約できた2本の薪を買い上げることで、女中は借入金を完済できたという話です。これは勤労のめざす、工夫することで得られる喜びであり、薪の徳を生かす、すなわち、薪の徳に報いるということです。尊徳は、徳に報いるため、あらゆるものが持つ特性を見だし、その特性を伸ばすために働くことが勤労であり、自然界・人間界のあらゆる徳に対し、自分の持っている能力を最大限に発揮せよと教えました。また、尊徳は、職業の尊さを説き、農業には田畑の徳、作物の徳、農民の徳が融合して米麦などを生み出し、全ての人命を養うという徳があり、商業には欲しい日用品が欲しい時に手に入る徳があるとし、全ての職業には徳が備わっているのだから、それぞれの職業に誇りを持つべきだと教えました。そして、人は、それぞれの職業の尊さを自覚し、精一杯の働きをすべきであり、職業を通じて社会に喜び、満足を提供すれば、その見返りとして「売って喜び、買って喜び」が実現する、これが経済だと説いています。ロータリーの綱領には「事業の道徳的水準を高める」「あらゆる有用な職務は尊重されるべき」と書かれていますが、尊徳の説く勤労は、これと同じことをいっているのだと思います。

会員増強・新クラブ結成推進月間

大阪鶴見ロータリークラブテーマ「もっとエモーショナルなクラブへ」

7月31日(火) 第2回出席強化イベント例会
 8月 7日(火) 理事会
 14日(火) 休会

🎉 今月の表彰とお祝い 🎉

誕生日

小山

在籍年数

【34年】西野、佐藤、田中(信) 【27年】水間
 【26年】武市 【23年】菊井 【14年】山本(良)
 【6年】大草 【4年】高木 【3年】巽 【1年】笛吹、尾崎

ホームクラブ10回連続賞

大草、清水、田中、山本(隆)、山崎、吉羽

結婚記念日

8/12 笹野

事業所創立日

8/1 山本(良)、8/20 源、8/24 武市

各会員

😊 NIKONIKO箱 😊

¥23,000.- 累計 ¥126,000.-

中村 会員 7/28さつまいも除草、つる返しに出席頂いた皆様、有難うございました。欠席のお詫び。

菊井 会員 7月は公務ですが、2回も欠席となりました。お詫び。ニコニコの気の利いたコメントがひねり出ません。「本日、娘若菜と久しぶりのデートです。自祝。」とでもしておきます。

山本(良)会員 8月7日休みます。

大阪鶴見RC国際交流基金

¥2,000.- 累計 ¥24,000.-

武市 会員 7月も今日で終わり、皆様お暑いですがお変わりございませんか？

R財団委員会報告

委員長：田中 信明

8月1日よりレートが1ドル112円となります。皆さんご寄付をよろしくお願ひいたします。

災害支援プロジェクト

募金

¥10,000.-

累計：¥818,422.-

卓 話

「私の走ってきた道、これから歩いて行く道」

担当：山崎会員

山本会長肝いりの今年度の新しい出席強化イベントということで、SAA 委員長の私が最初にさせていただきましたことになりました。今までひたすら走ってきた道を振り返り、今後ゆっくり歩いていきたい道についてお話しさせていただきます。

中学、高校、大学と進んできた中で、両親や親戚に叩き込まれてきたことが二つありました。一つは「会社や肩書きなどではなく、自分の名前で勝負せよ!」、もう一つは「ギリギリまで背伸びせよ、ただし足を地面から離すな、たまに大きく飛び上がってもいいが池ポチャするな!」でした。常に頭から離れない二つの教えでした。

さらに、私は20代に二人の素晴らしい人との出会いがあり、そのお二人に強く影響を受けました。お一人は退職した会社の上司で、もうお一人は、私が会計事務所に勤務していたときのお客様企業の社長様で、マーケティングという概念を日本に持ち込んだ人です。

その大きな影響を受けた2人の方から教えていただいたことは、この40年の社会経験の中で紆余曲折を経て5つに集約されてまいりました。

第一に、「組織は一人ひとりにとっての成長の舞台、自分の力を最大限に発揮する舞台だ」という考え方は、ロータリーも私にとって大切な組織の一つです。このような意識をもって行動できるかどうかは、自分自身が大きく成長できるかどうかの分かれ目だと今でも考えています。

第二に、そこでいう成長とは変化の一つ、「変化こそ生命(いのち)」だと教えていただきました。今、目の前にあるグラスを思い切り床にバンとたたきつけると、粉々に割れます。形が変化しました。しかし、グラスには生命はない、では生命って何だろう、それは、自分の意思で変化するという事ではないでしょうか。グラスは残念ながら他の力でしか変化できない、だから生命を宿していないのです。自分の意思で変化して初めて生命を持っていることになる、ですから、たとえ他人の指示を受けて動いたとしても、「指示を全うする」という自分の意思を意識して動くことを私は大事にして来ました。

さて、第一が「組織は自己成長の舞台」、第二が「変

化こそ生命」だとすると、第三は、その変化や成長の方向です。私は自分の意思で税理士という職業を選択しました。ところが30歳で独立したときに、いくらその仕事をしたくても仕事ができませんでした。全く申告書を書けなかったのです。申告書を書いてくださいというお客様がいなかった、ゼロからのスタートだったからです。自分で仕事を選んだからその仕事ができるわけではないという当たり前のことに、やっと気がつきました。小さいながらも1つの事務所を経営するという立場になって、社員の皆さんの努力をもとにお客様からいただいたお金で給料を工面する立場になって、初めて本当の意味でそれがわかりました。人が仕事を選ぶのは当然のこととして、実は仕事人が人を選ぶのだ、言い換えると、常に仕事から選ばれる存在になるように変化、成長していかなければならないのだと悟りました。

そうすると第四に、仕事から選ばれる存在になるにはどうすればいいかということがポイントになってきます。正解はないのですが、ただ1つだけ言えることは、これからの時代は他の人と同じことをしていたのでは、「あなたをお願いします」と言って選んでいただけないだろうということです。

有名な難破船の例え話があります。このまま船に乗っていたら助からないときに、どう言えば海に飛び込むか、というシニカルなジョークです。イギリス人は「ジェントルマンは海に飛び込む」と言ったら飛び込む。イタリア人は、「彼女も飛び込んだよ」と言ったら飛び込む。ドイツ人は、「ルールですよ」と言うので飛び込む。アメリカ人は「世界のリーダーはみんな飛び込む」と言えば飛び込む、そして日本人は「みんなが飛び込みましたよ」と言うので飛び込む、これが世界から見られているひとつのイメージです。

でも、関西人は自信を持ちましょう。日本人の中でも関西人だけ「阪神が優勝しましたよ」と言ったら飛び込む、という逸話が広がっているそうです。飛び込むのが海ではなくて道頓堀だというのがさらにユニークなところではありますが・・・。関西人というのは、昔から独自性をもっていることはよく知られています。

そして第五に、こういう「自分らしさ」を鍛え上げていくには、毎日1時間の自己投資の積み重ねが重要だと先の上司に教えられました。「毎日1時間、1カ月で30時間、そんな大きな差じゃない。だけど、1年がたつと360時間の差、1日10時間ずつ追いつこうと思っても36日かかる差になる。それが5年、10年したら圧倒的な差になってもう取り返しはつかないだろう。日々の積み重ね、1時間1時間の自己投資の積み重ねがものを言う。だから給料の10%くらいをつぎ込んで、毎日1時間の自己投資をせよ」と。

以上、私が意識してきた5つのお話させていただきました。そしてこれら5つを継続するためには目的、目標が必要になります。この重要性は、先ほどのマーケティングを日本に持ち込んだお客様企業の社長様から教えていただきました。

その社長様は、ワコールの創業者である塚本さんと非常に親しくされていて、塚本さんのいろいろなお話を、

食事をしながら教えていただきました。その中のひとつは「彼は、ワコールという会社をつくったときに、5年ごとに20年の計画を立てた。山崎君も立てたほうがいいよ」と言われたことでした。そこで、独立した30歳の時に自分を振り返ってみました。1浪して20歳になる年に大学に入学し、25歳で税理士試験に合格し、30歳でとりあえず独立し、私も5年ごとに節目が来ているなど気づきました。そこで、35歳で第2のビジネスを立ち上げる、40歳で第3のビジネスを立ち上げる、45歳になったら東京に拠点を置く、50歳以降はグローバルな仕事をすると、漠然とした20年計画を立て、手帳に書いて折に触れて眺めていました。

振り返ってみたらおもしろいものです。1、2年のずれはありますが、ほぼそのとおりになっています。目の前の1年、これはものすごく大事です。しかし、どこからその1年を見ているか、来年から見るか、10年先から見るか、あるいは日本から見ているか、世界から見ているか、すなわち時間、空間のどこから自分の周辺を見ているかということで、明日からの行動が変わります。これが目標、目的が大事である理由でしょう。

そこで最後に、これからの「歩いて」行く目標ですが、一つは趣味を充実させること、二つ目はプラットフォーム戦略を軸にした新規開発のお手伝いとベンチャーサポートです。

前者は50代に十の趣味を作ってきましたので、今後いくつか絞りに絞っていきます。今は将棋に凝っています。後者は、ここ20年ずっと申し上げてきた「デジタルを駆使したアナログ勝負」を軸に、皆様のお役に立てればと考えています。

拙いお話でしたが、ご静聴いただき本当にありがとうございました。



出席報告		7月31日【1600回】	
会員数	34名	●ビジター	0名
(内出席規定免除)	7名	●ゲスト	0名
出席会員	24名中 15名	●出席総数	22名
出席免除会員	10名中 7名	●前々回 7/10 M/U	2名
出席率	22/31 70.97%	●修正出席率	87.50%

担当:佐藤会員

ロータリーソング

四つのテスト

言行はこれに照らしてから

真実かどうか
みんなに公平か
好意と友情を深めるか
みんなのためになるかどうか

R-O-T-A-R-Y

R-O-T-A-R-Y,
that spells Rotary
R-O-T-A-R-Y, is known on land and sea
From North to South, from East to West
He profits most who serves the best
R-O-T-A-R-Y,
that spells Rotary

奉仕の理想

奉仕の理想に集いし友よ
御国に捧げん我等の業
望むは世界の久遠の平和
めぐる歯車いや輝きて
永遠に榮えよ 我等のロータリー

我らの生業

我等の生業さまざまなれど
集いて凶る心は一つ
求むるところは平和親睦
力むるところは向上奉仕
おゝロータリアン 我等の集い

限りなき道ロータリー

奉仕の理想 胸に秘め
友情花と咲かせつつ
生きよう今日も ニコニコと
一筋の道 ロータリー
限りなき道 ロータリー

それでこそロータリー

どこで合っても やあとのおうよ
見つけた時にゃ おいと呼ぼうよ
遠い時には 手を振り合おうよ
それでこそ ローローロータリー

町に灯(ともしび)を

出会いの挨拶してごらん
並木さらさら葉から葉へ
人にやさしい町の風
ロータリー ロータリー
廻って 守れ 風車になって
地球がきれいな息をする

われらがロータリー

「聞こえるかい 熱い心の高鳴りが」
夢を世代に受け継いで
今日も明日もその先も
胸いっぱい友情深め
肩組んで 謳おう
われらが ロータリー